



保坂 寿一
(統)

再生可能エネルギーの発電拡大を

問 市では24年度に、工場などで利用される水を対象に小規模な水力発電「小水力発電」の導入可能性を探るための調査を実施したが、この調査から分かった課題とその解決方法の検討結果や、導入の可能性、今後の計画について聞く。

答 調査では、産業部門での普及を目的に工場や商業施設での実地調査や事業者へのアンケート調査を行い、導入に適した箇所や採算性の合うシステムとの組み合わせ、導入の阻害要因などについて調査・分析した。

この結果、これらの施設内の複数の地点において導入の可能性が高いこ

とが分かったが、事業者においては導入について基礎的な情報が不足していることなどが明らかになり、適切な情報の発信が必要であると認識した。

今後は、導入に適した箇所やメリットなど導入を検討する上でポイントとなる情報を取りまとめ、市ホームページに掲載するほか、商工会議所や工業団地組合などの協力を得ながら、市内事業所に積極的に小冊子などで周知啓発を行い、工場などにおける小水力発電の導入促進を図っていく。



▲調査結果報告書と小冊子

その他の質問項目

- ①26年度当初予算規模の考え方
- ②各種基金の活用
- ③臨時財政対策債の発行
- ④入札不調による今後の対応策
- ⑤公共施設
- ⑥公共施設照明のLED化
- ⑦備蓄避難所
- ⑧宮っ子ステーション事業の見直し



久保井 永三
(未)

浄水発生土の管理適切にせよ

問 松田新田浄水場の放射性物質を含む2,000ベクレル以下の浄水発生土について、今年3月から処分先が決まり搬出しているとの報告を、6月に受けたが、搬出先ではどのように管理されているのか。

また、搬出にあたり隣接する学校や、関連する自治会に事前の連絡がなかったが、地域住民に対する報告の対応についてどのように考えるか。

答 松田新田浄水場の、2,000ベクレル以下の浄水発生土については、管理型の最終処分場に搬出しており、処分場では法に基づき周辺への環境汚染防止のため、敷

地境界における空間線量を毎日、排水の放射性物質濃度を毎月測定するなど適切に管理されている。

搬出にあたっては、6月末から7月にかけて、浄水場周辺の小学校や自治会長に搬出を開始したことなどについて説明した。今回は、地域住民にすぐ報告すべきところ、報告が遅れた。今後はこのようなことが無いよう十分注意する。

また、車両での搬出にあたっては浄水発生土を防水シートで覆い、飛散防止を図っているほか、通学路や通学時間帯を避けて通行するなど安全確保を徹底している。

その他の質問項目

- ①災害に強いまちづくり(透水性・排水性舗装とすること、調整池の整備、土砂災害ほか)
- ②市道整備(歩車道間の段差、未完成道路整備ほか)
- ③すぐやる課の新設
- ④入札制度(地域要件の考慮ほか)
- ⑤教育(自立心と協調性を持ったたくましい子どもの育成ほか)



高橋 美幸
(公明党)

生活困窮者への支援充実を

問 生活困窮者への支援について聞く。

①「みやハローワーク就労支援コーナー」を始めたとした市の就労支援事業の概要と実績は。

②「貧困の連鎖」の防止を目指し、生活保護世帯の子ども達への高校進学に向けた学習支援に早急に対応すべきと考えるがどうか。

答 ①現在、生活保護受給者への就労支援策として、ハローワークとの連携による一体的支援や民間事業者への委託による支援など4種の就労支援プログラムを実施しており、25年度は10月末現在で365人を支援し、就労開始が169人となっている。

中でも7月に設置した「みやハローワーク就労支援コーナー」では、生活保護の相談者などへの早期支援に努めており、7月から10月の4カ月間で、109人を支援し、61人が就労に至った。

②生活保護受給世帯の子ども達が確かな学力と社会性を身につけることは、将来自立するためには必要であり「貧困の連鎖」を防止するためには、重要であると認識している。

他都市における取り組みを参考にしながら、早期実現に向けて検討していく。



▲みやハローワーク就労支援コーナーでの相談の様子

その他の質問項目

- ①がん検診受診率の向上
- ②高齢者社会参画のボランティアポイント制度
- ③食品安全性の取り組み
- ④児童虐待防止対策の強化
- ⑤ストーカー被害者支援
- ⑥空き家等に関する条例
- ⑦いじめ防止対策
- ⑧理科実験学習の推進
- ⑨総合スポーツゾーン整備に伴う環境整備